

小田急、10ホテル新設

20年度メド 沿線外にも展開

小田急電鉄は2020年度までに新規のホテルを10カ所程度出店する。ターミナル駅の新宿エリアや主要観光地の箱根町

だけでなく、京都府や沖縄県など沿線外での展開も検討する。拡大が続く訪日外国人の宿泊需要を取り込み、

ホテル事業の営業収益を20年までに15年度比4割増の400億円に引き上げる。

同社は三菱地所・サイモン（東京・千代田）が運営する「御殿場プレミアム・アウトレット」（静岡県御殿場市）内にホテルと日帰り温泉施設を19年冬に開業することを決めた。

安田不動産（東京・千代田）が18年12月に東京・日本橋エリアに開発する複合ビルにもホテルを開業する。子会社で建物の大規模改修などを手掛けるUDS（東京・渋谷）がホテルの設計と運営を担当する。

山本利満社長は「オフィスビルや商業施設を大規模改修した新しい形のホテルも考えたい」としている。